

## 令和7年度宮崎県献血推進協議会議事概要

### 1 概要

令和7年度献血推進状況及び令和8年度献血推進計画（案）について、献血推進協議会委員に意見を求め、今後の献血推進事業の参考とするため、宮崎県献血推進協議会運営要綱に基づき協議会を開催した。

2 日時 令和8年2月3日（火） 午後2時から4時

3 場所 宮崎県防災庁舎 7階 71号室

### 4 出席者

- (1) 会長 小牧 直 裕
- (2) 委員 峰松 俊夫委員、岩崎 恭子委員、中村 小夜子委員、渡久山 武志委員、鈴木 斎王委員、坂元 亮子委員、岡部 賢志委員、山下 恵子委員、杉田 千泰委員、椎井 美智子委員
- (3) 幹事 安藤 ゆかり、染矢 香代

### 5 協議内容

- (1) 令和7年度献血事業推進状況  
幹事より、資料1の1～5ページ及び資料2の内容が説明された。
- (2) 令和8年度宮崎県献血推進計画（案）  
幹事より、資料1の6～9ページの内容が説明された。  
委員より以下のような意見があり、その意見を踏まえ、資料1の6～9ページの令和8年度宮崎県献血推進計画（案）のとおり事業を推進していくことで、協議会にて承認された。
- (3) 主な意見及び質疑  
ア 令和7年度献血事業推進状況（資料1 1～5ページ 資料2 1～4）

委員からの意見等	(若年層対策について) ・大学に対し、新学期のオリエンテーション時期に合わせ、パンフレット配布や案内を行ってはどうか。高校生など早い段階からの意識付けが重要である。
事務局（幹事）意見	・ぜひ前向きに進めたい。オリエンテーションのタイミングでの訪問や、事前の広報資材の提供、声掛けの依頼など、協力体制を構築していきたい。

委員からの意見等	<p>(高校献血の課題について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校側が献血に慎重な理由は安全対策への不安とカリキュラム上授業が優先であることである。これらに対しどう対策を打つべきか。</li> <li>・学校では保護者からの安全面に対する意見が多いため、実施が難しい。また、400ml 献血は時間がかかるため、授業や行事の参加ができなくなるため、生徒側も献血を積極的に行えないのが現状。「200ml なら時間も短く1年生も可能」であることを知らない学校も多いのではないか。周知が不足していると感じる。</li> <li>・保護者の不安を解消するため、県や血液センターで「標準的な説明テンプレート(症状や対策をまとめたもの)」を作成し、配布できるようにしてはどうか。</li> </ul>
事務局(幹事)意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副作用への不安を解消するため説明することに加えて、献血してよかったという「献血者の笑顔」を見せるような広報も有効と考える。</li> <li>・現在、同意書の中に説明文はあるが、不安解消に特化したテンプレートはない。提案を受け、前向きにあり方を検討したい。</li> </ul>

イ 令和7年度献血推進計画(案)(資料1 6~9ページ)

委員からの意見等	<p>(献血カード廃止について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化(ラブラッドへの移行)により、登録しないと献血ができないという誤解を招くのではないか。スマホを持たない高齢者や充電切れの際などの対応はどうしているのか。「スマホなしでもOK」「電話予約OK」といった内容をポスター等で明示すべき。</li> <li>・従来のカード(回数が見えるもの)がなくなることで、モチベーションが下がっているという声もある。検討してほしい。</li> </ul>
事務局(幹事)意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報資材で対応はしているが、県内にはスマホを利用しない方もいるため、当日受付の運用は継続している。「アプリがないと献血できない」という誤解を与えないよう、広報を見直す。</li> </ul>

ウ その他血液事業に関する意見等

委員からの意見等	<p>(コロナ禍や流行時期による変動について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響を受けているのか。月別の献血者数を見ると、流行していない時期に減って、流行している時期に増えているように思える。</li> </ul>
----------	---

事務局（幹事） 意見	<p>感染が拡大した際に、献血者が減少し、公報等を行ったので献血者が増えているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年度7年度については、コロナの影響は受けていない。7月8月が落ち込んでいるのは、暑さの影響が大きいと思われる。</li><li>・令和コロナ禍では事業所へバスが行けず街頭献血に回していたが、現在は回復傾向にある。環境改善や配車先の見直しに取り組んでいる。</li></ul>
---------------	--